

静岡大学イノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）

地域と大学 第32号

Newsletter No.32, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

ギョーザで勝って、まちづくりで宇都宮の後塵を拝した浜松

大学院総合科学技術研究科准教授 戸田 三津夫

地域課題解決支援プロジェクト課題「次世代交通システムの実現と観光・文化都市へのまちづくり／浜松都市環境フォーラム」の紹介をします。

本課題は、増田寛也氏^{注)}らが2013年に発した「地方消滅」に象徴される衝撃的な警鐘を深く受け止め、50年、100年後の活気ある浜松市を実現するために危急の提案をするというものです。浜松市は「消滅可能性896都市」に含まれませんが、一部は深刻な状況にあります。高齢者に重心が移った「いびつな年齢別人口構成」と、そこからみえる将来の社会、現在の浜松市の都市構造やインフラを見る限り、崖から転落しかねない将来像も予想されます。本課題では、日常の移動手段としての「交通」と、将来の浜松を支える新たな産業の柱となりえる「観光」に提言の的を絞っています。

たとえば交通については、浜松市は政令市の中で「人口あたり人身事故数」が他の追随を許さないダントツ不動の一位です。これは、ほとんどの市民が自家用車に依存しており、今後は高齢者ドライバーによる交通事故リスクが激増し、その後は免許返納者など外出できない交通弱者が増えていくことを示しています。勤めに出ない市民であっても、日々の買い物や通院などで外出します。公共交通の役割は路線バスが担っており、まるで発展途上国の様相です。また、数年後の都田地区での大規模工場操業開始後は、通勤や物流の交通量増加により、国道257バイパスの渋滞の一層の深刻化が予想されています。

一方、国は観光業、特にインバウンドに注目しています。観光立国といわれる国々は、年間にその人口を上回る数の観光客を受け入れており、GDPの10%ほ

どを観光で得ています。これを日本に当てはめれば、製造業（2012年現在名目GDPに占める製造業の割合は約18%）の半分に相当します。観光業にはそれだけの伸びしろがあります。成熟社会に向かう日本は、これからは競争力のある製造業を維持しつつ、徐々にサービス業にシフトしていかざるを得ません。将来を担う最有望分野が観光業、中でも浜松の観光はポテンシャルの割に比較的未開拓で、大きな飛躍が期待されます。

具体的には、この問題に対処するために欧州を中心に都市の中量輸送交通として欠かせないLRT（Light Rail Transit）の整備を提言しています。また、それを起爆剤にした観光資源の掘り起こしを、これまで二回の公開シンポジウムで提案してきました。ギョーザとHONDAで縁のある宇都宮市はLRT整備を決め、地方創生への一步を踏み出しました。浜松の未来を創る活動へのみなさまの参加をお待ちしています。



注) 増田寛也（ますだひろや）：元岩手県知事、元総務大臣、主な著書に「地方消滅 - 東京一極集中が招く人口急減」、「東京消滅 - 介護破綻と地方移住」（いずれも中公新書）がある。

本課題については以下を参照してください。

<http://www.lc.shizuoka.ac.jp/areastudies000191419.html>

2015年度静岡大学公開講座が終了しました

講座名	講師	日時	会場	対象	各日 定員	延べ 人数	受講料	部局
中国人による中国講座—日本人の知らない中国 [全10回]	人文社会科学部准教授・張 盛開 静岡大学非常勤講師・王 元武 静岡大学非常勤講師・盧 思 静岡大学非常勤講師・周 佩芳	4/11・18・25、 5/16・23・30、 6/13・20、7/4・11 (土)14:00～ 16:00	静岡キャンパス	一般市民	60	370	無料	人
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (初級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表・小泉成行	4/29(土) 9:30～16:30	静岡キャンパス 及び屋外	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	23	3,000	教
私のミカン～ミカンの通年管理教室～ [全5回]	技術部技術専門職員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/12、7/14、9/15、 11/17、3/1(火) 13:30～15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	50	10,000	技
施設栽培技術講習会 [全4回]	農学部准教授・切岩祥和 (株)ヒノン農業取締役社長・影山雅也 ダブルエム研究所所長・狩野 敦 静岡県農業技術研究所職員 (株)アームズ取締役・三倉直巳 農学部教授・鈴木克己	6/10・24、7/15・29 (水) 10:20～14:15	静岡キャンパス	一般市民	15	36	2,100	農
音楽授業のための民謡入門 [全3回]	教育学部教授・志民一成	7/31(金)、8/4・ 25(火)13:00～ 16:00	静岡音楽館 AOI	小・中学校教員 (音楽)及び小・ 中学校の教員を 目指している方	30	48	無料	教
弾いてみよう和楽器、歌ってみよう日本音楽 [全3回]	教育学部准教授・長谷川 慎 長唄演奏家(長唄三味線方)・東音高橋智久 長唄演奏家(長唄唄方)・東音小林百合	8/5(水)10:00～ 15:00、8/12(水)・ 13(木)10:00～ 16:00	静岡音楽館 AOI	小・中・高等学 校教員及び伝統音 楽指導に興味のある方	16	64	無料	教
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫	8/5(水)10:00～ 17:00、8/6(木) 10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	40	無料	グ
伊豆半島における地質・自然・文化遺産と人びとの関わり [全3回]	人文社会科学部准教授・今村直樹 人文社会科学部教授・篠原和 理学部准教授・徳岡 徹	8/29、9/12・26 (土) 14:00～16:00	三島市民文化 会館	一般市民、伊豆 半島ジオガイド協 会会員およびジオ パーク関係者	80	186	無料	イ
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (中級編)	教育学部教授・村越 真 ブロードベンチャーレーサー・宮内佐季子	10/3(土) 9:30～16:30	静岡市郊外 (屋外)	過去に初級編を受 講した方、又は地 形図の基礎知識が ある登山経験者で 6km程度を無理なく 歩ける方	20	20	3,600	教
静大キャンパス探訪 ～静岡キャンパスの自然と歴史～ [全3回]	ふじのくに地球環境史ミュージアム・岸本年郎 理学部准教授・徳岡 徹 人文社会科学部教授・篠原和大	10/3・17・24(土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生(中学 生以下は保護者 同伴)	20	34	無料	キ
人間生活のリスクと幸せ [全6回]	人文社会科学部教授・橋本 剛 人文社会科学部教授・平岡義和 人文社会科学部准教授・吉田 崇 人文社会科学部教授・荻野達史 人文社会科学部教授・笠井 仁 人文社会科学部教授・田中伸司	10/6・13・20・27、 11/10・17(火) 18:30～20:00	アイセル21(静 岡市葵生涯学 習センター)	一般市民	30	197	無料	人
サツマイモを食べよう! ～サツマイモの収穫・調理教室～	農学部助教・浅井辰夫 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	10/31(土) 9:00～12:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民(小学 生以上)	20	21	600	農

講座名	講師	日時	会場	対象	各日 定員	延べ 人数	受講料	部局
情報学部公開講座 2015	情報学部教授・竹内勇剛 情報学部教授・大島律子 情報学部講師・原田伸一郎	11/7(土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	興味のある方なら どなたでも	150	70	無料	情
トレイルランナーのためのランニングとリスクマネジメント	教育学部教授・村越 真 teamTECNICA・山田高志	2016/2/20(土) 9:00～16:00	静岡キャンパス 及び屋外	日常的にランニング (ロード・トレイル を問わず)を実施 し、トレイルラン ニングに興味を持つ 市民	15	8	3,900	教

【主催欄凡例】

(地) = イノベーション社会連携推進機構(地域連携生涯学習部門) (人) = 人文社会科学部 (教) = 教育学部 (農) = 農学部
 (情) = 情報学部 (キ) = キャンパスミュージアム (グ) = グリーン科学技術研究所 (技) = 技術部

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

静岡大学では、大学創立60周年を機に、読売新聞東京本社静岡支局、中日新聞東海本社、ユーコープ(旧コープしずおか)と連携した市民向け講座を開講し、2015年度で7年目を迎えました。

継続して開講してきたため、いずれも市民の間に浸透・定着し、受講者の数は増加しています。

来年度も開講を計画していますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「〈生きる〉を考える」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	8/22(土)	変貌する身体と生命～サイボーグ化とデジタル化の未来～	松田 純(静岡大学人文社会科学部研究科特任教授)	118
2	10/11(日)	老いを科学する～老化と寿命はどこからやってくるのか?～	丑丸敬史(静岡大学理学部教授)	183
3	10/31(土)	医療と身体を考える ～図像から読み解く西洋中世医学の文化史～	久木田直江(静岡大学人文社会科学部教授)	157
4	11/22(日)	〈死〉とともに生きる～死ぬとは?生きるとは?～	竹之内裕文(静岡大学農学部教授)	174
5	1/9(土)	生むこと、生まれること～家族と社会を問い直す～	白井千晶(静岡大学人文社会科学部准教授)	148

■会場：あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6階大ホール

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「光の不思議な世界」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	10/3(土)	光子をとらえよ：X線の新しい情報を引き出すフォトンカウンティングCT	青木 徹(静岡大学電子工学研究所教授)	81
2	11/8(日)	瞳をキャッチ：近赤外光を利用した瞳孔検出技術・視線検出装置の開発	海老澤嘉伸(静岡大学大学院総合科学技術研究科教授)	54
3	12/5(土)	自然界にない光で見えるものとは：テラヘルツ波の発生と応用	佐々木哲朗(静岡大学電子工学研究所特任教授)	67
4	1/23(土)	トンボの目で極限現象を見る：ヒトとは違う見方で、見えてくる	香川景一郎(静岡大学電子工学研究所准教授)	56
5	2/13(土)	近未来は光健康診断：光を使って体の活動や健康状態を測る	庭山雅嗣(静岡大学大学院総合科学技術研究科准教授)	72

■会場：静岡大学浜松キャンパス

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

3 静岡大学・ユーコープ連携講座「伊豆半島における地質・自然・文化遺産と人びとの関わり」

回	三島会場		静岡会場		タイトル	講師
	開催日	参加者	開催日	参加者		
1	8/29(土)	66	11/22(日)	24	菰山代官江川氏と伊豆半島の幕末維新	今村直樹(静岡大学人文社会科学部准教授)
2	9/12(土)	58	11/29(日)	25	石棺と築城石ー考古学から見た伊豆石の利用ー	篠原和大(静岡大学人文社会科学部教授)
3	9/26(土)	62	11/8(日)	16	伊豆半島の植物と植生	徳岡 徹(静岡大学理学部准教授)

■会 場：[三島会場] 三島市民文化会館大会議室 [静岡会場] 静岡市葵生涯学習センター4階研修室

■参加費：無料

■連携先：生活協同組合ユーコープ(静岡会場連携先：生活協同組合ユーコープ・葵生涯学習センター)

■その他：上記講座に加え、浜松を会場として以下のとおり実施した。

[浜松会場/静岡大学浜松キャンパス]

「アンチエイジングはどこまで可能となったか？」(1/23) 講師：丑丸敬史(静岡大学理学部教授)



静岡大学・読売新聞連続市民講座
「『生きる』を考える」チラシ



静岡大学・中日新聞連携講座
「光の不思議な世界」チラシ



静岡大学・ユーコープ連携講座
「伊豆半島における地質・自然・文化遺産と人びとの関わり」チラシ

2015年度下半期(10月～3月)の事業報告

主催事業

公開セミナー

「学ぶって楽しい!～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学ぶって楽しい!」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

・日時：2015年10月18日(日) 9:15～12:15

・プログラム：

[講義①]「強勢とリズムでわかる英語の音・日本語の音」講師：亙理陽一(静岡大学教育学部英語教育教室准教授)

[講義②]「美味しいハンバーガーの秘密」講師：海野愛花(日本マクドナルド(株))

・参加費：無料

・参加者数：79人

・会場：静岡大学大学会館3Fホール

・企画：静岡県障害者就労研究会

公開講演会

「障害者の就労継続を考える～最近の社会・国の動向を捉えての就労の準備～」

知的障がい者の生涯学習を始めとする自立と社会参加の促進を図るために、教育関係者および知的障がい者の生活支援や就労支援に係わっている方々に向けて講演会を開催しました。障害者の権利条約に基づき、障害者の就労に関しても様々な環境整備が進んでいます。国の就労や福祉政策の動向を捉え、就労や就労継続に関して、本人たちに求められるコミュニケーション力や必要な支援について学びました。

- ・日時：2015年10月18日（日）13:30～15:30
- ・講師：松為信雄（文教学院大学教授）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：48人
- ・会場：静岡大学大学会館3Fホール
- ・企画：静岡県障害者就労研究会

博物館フォーラム

「ジオパークにおける博物館の役割と学生参加のあり方～伊豆半島ジオパークとふじのくに地球環境史ミュージアムについて～」

大学・ジオパーク・博物館関係者がそれぞれの役割について相互に理解を深め、ジオパークや博物館の活動への学生参加のあり方について議論することを目的にフォーラムを開催しました。フォーラムでは、前半に伊豆半島ジオパーク推進協議会および2016年3月に開館するふじのくに地球環境史ミュージアムから活動紹介がなされ、後半は博物館でボランティア活動をしている学生を交えたパネルディスカッションが行われました。博物館ボランティア活動継続における課題等を中心に活発な議論がなされました。

なお、このシンポジウムの内容の詳細については、研究紀要『静岡大学生涯学習教育研究』で別途報告する予定です。

- ・日時：2016年1月28日（木）12:40～14:30
- ・会場：静岡大学共通教育B棟301教室
- ・プログラム：

[講演①]「伊豆半島ジオパークは地球の活動を伝える博物館になりえるか」講師：鈴木雄介（伊豆半島ジオパーク推進協議会専任研究員）

[講演②]「ふじのくに地球環境史ミュージアムの挑戦」講師：岸本年郎（ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授）

- ・参加費：無料

- ・参加者数：80人

公開シンポジウム

「地域課題から地方創生へ～地域と大学で何ができるか？～」

地域の様々な課題を公募し、その解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」が立ち上がり、県内各地で活動を始めました。今回、応募自治体である東伊豆町との共催で公開シンポジウムを開き、県内の取り組み事例を報告しながら、地域と大学が連携・協働することによって何ができるかを考えました。

なお、このシンポジウムの内容の詳細については、研究紀要『静岡大学生涯学習教育研究』で別途報告する予定です。

- ・日時：2016年2月21日（日）13:00～16:30
- ・会場：東伊豆町役場 1階大会議室
- ・プログラム：

[報告①]「静岡大学＜地域創造学環＞が目指すもの」

報告：平岡義和（静岡大学地域創造学環教授）

[報告②]「内発的発展による観光まちづくり～熱海市の事例を中心に～」報告：川瀬憲子（静岡大学人文社会科学部教授）、川瀬研究室・地方財政論ゼミ生

[報告③]「学生参画による地域連携の取り組み」

- ・「静大フューチャーセンター概要」
- ・「伊豆地域における静大フューチャーセンターの取り組み」報告：宇賀田栄次（静岡大学学生支援センター准教授）、静岡大学フューチャーセンターディレクター

[パネル・ディスカッション]

- ・コーディネーター：阿部耕也（静岡大学イノベーション社会連携推進機構教授）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：46人



共催事業

生涯学習指導者研修事業 「公民館の力を磨く」

静岡県内の公民館活動などを通して、生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供と大学とのネットワークづくりを進めるとともに、指導者の資質の向上をはかることを目的に、静岡県公民館連絡協議会との連携事業として実施するものです。

公民館を取り巻く環境は近年大きく変化し、社会教育・生涯学習の場として、また地域づくりの拠点として、これまで以上に地域の住民・機関・団体との連携・協働が求められています。地域のもつ資源、人材、ネットワークなどを活かしながら、地域全体の総合的な取り組みが必要な課題と向き合い、地域内での連携・学び合いの中で、課題解決を図る様々な事例に学び、公民館のもつ教育力・地域力を高める方策を探りました。

・日時：2015年11月27日（金）10:20～16:00

・会場：静岡市興津生涯学習交流館

・プログラム：

- ①基調講演「暮らしと密着した自主防災～公民館が活かす自然、知恵、結の心～」講師：藤井礼子（島根県浜田市立安城公民館主事）
- ②事例報告「学生の力を活かすまちづくり～静大フューチャーセンターの取り組み～」報告者：静大フューチャーセンター運営学生
- ③グループワークとディスカッション 講師：久保渉（静岡県教育委員会社会教育課指導主事）



- ・コメンテーター：菅野文彦（静岡大学教育学部教授）
- ・参加者数：36人
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学イノベーション社会連携推進機構（地域連携生涯学習部門）、静岡県公民館連絡協議会

2015ビジネス講座 「再生可能エネルギーを事業化する」

福島大学が文部科学省からの委託事業（平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」）の一環として開催する講座を、静岡版として共同で開催しました。太陽光、木質・畜産系バイオマス、小水力などの再生可能エネルギーを活用した発電事業に興味関心のある事業者、NPO、地域活動者等の方々を対象に、事業化のための実践的・実用的な知識を身につけることを目指して、講義とグループワーク・ディスカッションを行いました。

・日時：2015年10月8日（木）～12月3日（木）

13:30～17:00

・会場：静岡市産学交流センター（B-nest）

・プログラム：

- ①10/8（木）「地域参加型太陽光発電事業の実践」講師：鈴木俊雄（白河地域再生可能エネルギー推進協議会）
- ②10/22（木）「木質バイオマス活用による地域電熱併給事業」講師：白石昇央（福島ミドリ安全株式会社）
- ③10/29（木）「畜産系バイオマス・食品残渣活用によるバイオガス発電事業」講師：佐藤理夫（福島大学共生システム理工学類教授）
- ④11/20（金）「小水力発電の開発ステップ」講師：松尾寿裕（全国小水力利用推進協議会）
- ①12/3（木）「地域資源を活用した再生可能エネルギー事業の取り組み」講師：服部乃利子（しずおか未来エネルギー株式会社）

・参加費：無料

・主催：福島大学地域創造支援センター、静岡大学イノベーション社会連携推進機構

その他の地域連携事業

支援事業

「静大・ジュビロサッカークリニック浜松（U9）」後期

静岡大学と（株）ジュビロは、2015年4月に包括連携協定を締結しました。協定締結後、最初の事業とし

て、浜松サッカー少年団に所属する小学3年生を対象とした練習会を開催しました。

2014年春に完成した静岡大学浜松キャンパスの人工芝グラウンドフットサルコートを活用し、ジュビロ磐田のコーチが指導を行い、本学サッカー部が運営に協力しました。

・日時：

[3班・7班]2015年10月23日(金)～2016年2月19日(金)

[4班・8班]2015年10月30日(金)～2016年2月26日(金)

19:00～20:30

・対象：小学3年生

・会場：静岡大学浜松キャンパス

企画協力事業

静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座 「死を見つめ今を生きる～豊かな人生を送るヒント～」

この事業は、静岡市内5大学と静岡市が主催して全5回の講座として実施するもので、このうち第5回が静岡大学の担当回でした。

・日時：2015年10月3日(土)～10月31日(土)

10:00～11:45

・プログラム：

①10/3(土)「日本人の靈魂観」

講師：吉田真樹(静岡県立大学准教授)

②10/10(土)「世界の死生観と死者儀礼」

講師：川野美砂子(東海大学教授)

③10/17(土)「死後の世界と生まれる前の世界」

講師：高橋清隆(静岡英和学院大学教授)

④10/24(土)「在宅での看取り」

講師：渡部洋子(常葉大学教授)

⑤10/31(土)「対話を通して生と死を探究する」

講師：竹之内裕文(静岡大学農学研究科教授)

・参加費：無料

・会場：アイセル21

・主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、東海大学、常葉大学、静岡市

静岡市北部生涯学習センター美和分館 アカデ美和歴史講座「江戸時代の静岡農村」

静岡市北部生涯学習センター美和分館主催の歴史講座「今川・徳川と駿河国」第3回に協力しました。

徳川家康公薨去四〇〇年の今年、改めて今川氏・徳川氏と郷土・駿河国を見直し、駿河の地域社会が迎えた明治維新と、その歴史的意義について考えました。

・日時：2015年11月28日(土) 13:30～15:30

・講師：今村直樹(静岡大学人文社会科学部准教授)

・参加費：無料

・参加者数：48人

・会場：静岡市北部生涯学習センター美和分館

・主催：静岡市北部生涯学習センター美和分館、美和歴史たまご会

吉田町大学特別公開講座 「吉田町と周辺地域の歴史」

・日時：2015年11月25日(水)～12月17日[全4回]

19:00～20:30

・プログラム：

①11/25(水)「今川氏の遠江進出と吉田地域」講師：小和田哲男(静岡大学名誉教授)

②12/3(木)「徳川・武田両氏の攻防と小山城」講師：本多隆成(静岡大学名誉教授)

③12/10(木)「近世成立期の榛原地域」講師：本多隆成(静岡大学名誉教授)

④12/17(木)「近代の吉田地域」講師：山本義彦(静岡大学名誉教授)

・参加費：2,000円

・会場：吉田町中央公民館

・対象：高校生以上の方(町内外問わず)

地方創生市民シンポジウム(第2回) 「浜松創生・市民案～みんなで考える浜松の未来～」

・日時：2016年1月11日(月) 13:00～17:00

・会場：静岡文化芸術大学講堂

・プログラム：

[提案発表]

①「若者がつくる未来」発表者：大高真寛(浜松西高1年)

②「音楽と観光がつくる未来」発表者：青木優太、小浜諒(浜松西高1年)

③「LRTがつくる未来」発表者：内田宏康(浜松都市環境フォーラム代表)

・ファシリテーター：日比谷憲彦(静岡文化芸術大学准教授)

・参加者数：120人

・参加費：無料

・主催：浜松都市環境フォーラム

静岡市北部生涯学習センター美和分館講座 「映画「スターウォーズ」とアメリカ」

映画「スターウォーズ」シリーズを、その物語や世

界設定の基となった様々な文学・映画作品や、シリーズの成功とその後の変化をもたらす社会情勢の変化などを結びつけてみることで、作品に反映されているアメリカの文化や社会の様々な側面を学びました。

- ・日時：2016年2月20日（土）18:30～20:30
- ・講師：花方寿行（静岡大学人文社会科学部教授）
- ・参加者数：18人
- ・参加費：無料
- ・会場：静岡市北部生涯学習センター美和分館
- ・主催：静岡市北部生涯学習センター美和分館

日本経済新聞連載企画 「静岡大発 私の提言」

2015年5月から毎月1回、日本経済新聞静岡版での連載がスタートしました。記事は静岡大学の教員3名が交代で執筆し、その内容は各教員の専門性を活かしながらも時代の情勢に沿った連続性のあるものとなっています。今年度のテーマは「静岡の企業や行政は先の見えない時代にどう向き合うべきか」です。大学の知見を読者に紹介することで、地域と大学を結ぶきっかけになればと考えています。

- ・執筆者：
 - ①宇賀田栄次（静岡大学学生支援センター准教授）
専門：キャリア教育、就職支援
 - ②白井千晶（静岡大学人文社会科学部准教授）専門：
家族社会学、医療社会学

- ③日詰一幸（静岡大学人文社会科学部教授）専門：
行政学、地方自治論

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2015年度の前・後学期別の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
前学期	後学期	合計	前学期	後学期	合計
219	198	417	162	136	298



企画実施委員会

当部門には、「企画実施委員会」が組織されています。当部門の運営や組織、さらに本学の地域連携・生涯学習のあり方等について審議するとともに注)、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議します。

委員名簿（2015年度）

阿部 耕也	部門長・教授
石川 宏之	部門専任教員・准教授
清水 一男	部門専任教員・准教授
土居 英二	機構特任教授
水谷 洋一	人文社会科学部教授
渋谷かさね	教職大学院准教授
岡田 安功	情報学研究科教授
三重野 哲	理学研究科教授
戸田三津夫	工学研究科准教授

今泉 文寿	農学研究科准教授
松野 和子	大学教育センター講師
福井 孝典	学術情報部研究協力課長
大谷 悦子	部門パート事務職員
牧野 宏美	部門パート事務職員

地域と大学 第32号

発行日——2016年3月28日

発行——静岡大学イノベーション社会連携推進機構
(地域連携生涯学習部門)

編集——大谷 悦子

連絡先——〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

(事務局) 学術情報部研究協力課 ☎ 054-238-4056